

農地・水・環境保全向上対策の 取り組み事例紹介

農林水産省では、平成19年度より農地・水・環境保全向上対策を本格的に着手し、全国で17,065組織・取り組み面積で約1,160千haが行われています。

三重県においても、この対策に234組織・協定面積で約11,300haが取り組んでおり、今回その中から数地区の活動を紹介します。

伊勢寺地域環境保全をする会（松阪市伊勢寺）

この会では、県営ほ場整備事業堀坂川沿岸地区で整備された農地・農業施設とため池5箇所を適正に管理するとともに、これらの資源の長寿命化及び農村環境の保全に取り組んでいる。構成メンバーは農業者、自治会、老人会、小学校、PTA、消防団の他に周辺施設との連携も図るためにウエストパーク、森林公園についても構成員として参画し地域の環境保全、景観の形成保持の活動に取り組んでいる。

主な活動として、イノシシ等の獣害からの被害を防止するための獣害防止柵の設置・適正管理、自治会・小学校・PTA等が協力し、ため池の外来種駆除、地域ぐるみでのササユリ・ホタルの保存活動など生態系保全活動を行っている。また、老人会・小学校・PTA等が連携して景観形成・生活環境保全のため低花木の植栽・消防団が消火活動の水としての活用に取り組んでいる。



獣害防止柵の設置



ホタルの保護看板設置



又刈池外来魚駆除活動中
近写

外来種の駆除



在来種保護看板設置

原農水環境を守る会（玉城町）



水生昆虫

この会では、地域の豊かな農地及び自然環境を住民一人ひとりが大切にし「自分たちの土地は、自分たちで守る」をモットーに、区内の組織団体が一体となり、潤いのある

町づくりを目指し、資源の長寿命化及び農村環境の保全に取り組んでいる。構成メンバーは農業者、自治会、改良区、老人会・婦人会、消防団、子供会・PTA等が中心となっている。

主な活動として、生態系・水質保全の重要性を地域住民に理解してもらうために地区周辺の水路を利用し、地域の子どもたちと水生生物調査を行った。また、構成員が連携して花木の植栽を行い景観形成・生活環境保全活動にも取り組んでいる。



里山に近い水田脇での調査



子どもたちが楽しそうに生き物を探しています



小さな子どもの参加



なばなの種まき

イノシシによる被害調査



電気柵の点検

市木地区田んぼを守ろう会（御浜町）

この会では、地域の資源の保全管理の現状や課題を踏まえ、関係農業者をはじめ様々な主体の参加のもとワークショップ等により決定し、地域の改善、質的向上が図れるような、幅広い、前広な取り組みを目指し、資源の長寿命化及び農村環境の保全に取り組んでいる。構成メンバーは農業者、上市木区、市木川沿岸土地改良区から成り、連携しながら活動を行っている。

本地域は、山間部に位置することからイノシシによる獣害が多く発生しているためイノシシによる被害調査、電気柵の点検等を行なっている。また、景観形成・生活環境保全活動の一環として、なばなの植栽を行っている。



農道砂利補充

終わりに、三重県としては平成20年度についても新規地区の採択を含め本対策の推進を図ってまいりますので、地域協議会、県、市町の窓口にお問い合わせ下さい。